





日本と朝鮮の平和的関係を再構築した朝鮮通信使

～静岡が果たした歴史的な意義とは何か～

忠に謁見した約500人の使節団は、静岡の清見寺に投宿して、大御所の家康から歓待を受けました。朝鮮使節は、国交回復にかけける家康の本気度を本国に報告し、10年後に2回目の使節が来日しました。しかし、対馬藩の国書の偽造が露見し、通常なら、対馬藩は断絶ですが、実際は違った。このあたりの両国政府の事件への対処はいかにも外交的ですか。

**トビ氏** 外交的ですか。対馬藩の宗家は鎌倉時代以降、対馬を支配してきた家柄。朝鮮側から見ると宗氏が絶えず日本を代表する立場として間に立っていました。しかも宗氏とその家来は朝鮮と付き合っていく上で必要な知識と技能を持っている。だから対馬の宗家を改易して別の者を送り込むのは、それまでに築き上げてきた対朝鮮関係を維持する上で得策ではありません。そこで偽造に直接関わった2人を東北へ流刑し、対馬の宗家はお咎めなしとしたのです。これは当時の将軍・家光自身が1635(寛永12)年の御前裁判で決めたことです。

家体制と相並びます。ウエストフリアア体制は、領土を尊重し、内政不干渉という近代の国際秩序の源流ですが、当時の東アジアでは、ヨーロッパに先立って、中国は中華を自負し、朝鮮は小中華意識を持って清の年号を使わず、日本は独自の年号を使って朝鮮や琉球と外交をしています。江戸時代の日本が鎖国をしていたという通念は思い込み過ぎない、ということですね。

**トビ氏** その通りです。  
**富士山と通信使を平和のシンボルに**

**トビ氏** 富士山が日本全域の人に親しまれるようになったのは、江戸期に入って参勤交代、商売、寺社参詣などで人々が旅をするようになってからです。やがて富士山は文学、絵画、芸能、工芸などの文化の源泉となり、そのアイスクールが富士山を日本のシンボルへ昇格させました。朝鮮通信使もほぼ毎回富士山を見えています。通信使を描いた『朝鮮人大行列記』には「ふじの山ハ三つぐく一の山じゃ」という朝鮮人の台詞も書き込まれ、

**知事** 1630年代というのは、教科書的には、5回の「鎖国令」で鎖国完成といわれる時期です。その時期に実際は、幕府は外交に腐心し、国書の偽造が表面化し、「日本国王」とは名乗らない日本の将軍を、どのような称号にすれば良いのか、大問題でした。

**トビ氏** 大問題です。それまでの国書には中国と日本の年号をあえて記しませんでした。日本の元号を使わないことは便宜上やりやすいのですが、日本という国家を主張できなくなり、思想的な空に浮いている印象を与えます。そこで幕府が工夫して、寛永13年の国書に「寛永13年12月27日」と書きました。これによって日本には独自の元号があ



イリノイ大学名誉教授 ロナルド・トビ氏

1942年生まれ。アメリカの歴史学者。コロンビア大学で博士号取得。カリフォルニア大学パークレー校、東京大学、慶應義塾大学ほかで教鞭をとる。2012年に第1回日本研究功労賞を受賞。

り、中国の年号システムから独立した形であることになりました。では、徳川将軍は国王でなければ何なのか。「国王」は中国皇帝に属する国の王という意味。「日本国王」と自称すると、あなたも中国皇帝が徳川家を日本の国王に任命しているように見えます。これはまずいので外交称号として全く前例のない「日本国大君」という称号を将軍に付しました。国書に記す元号と日本国大君の表記は、中国を中心とする国際秩序から日本が離脱したことを宣言する形になったと私は理解しています。

**知事** 当時の東アジアの国際秩序は「中華」の天子と周囲の「夷狄」の国王群からなる「華夷秩序」ですが、1630年代に日本山がいかにも日本と一体であることを感じます。最後に一言。日本と朝鮮は多くの危機を乗り越えて今日に至っています。数年前、李明博大統領(当時)が竹島に上陸してこじれた日韓関係の修復のために、私は朴権憲大統領に書簡を送りました。内容は、1607年、朝鮮の使節が静岡にきた朝鮮暦の6月20日に、清見寺で裏千家大宗匠がお茶をたて、徳川宗家18代の徳川恆孝さんが同席し、茶会を平和のシンボルとして、朝鮮通信使をユネスコの記憶遺産登録を目指すことを念頭に静岡にお越しくださいませんか、県民は全面的にバックアップするということです。大統領の来日は叶いませんでしたが、友好記念茶会はそれから毎年続いで

富士山が世界で最も美しい山であることを作者が異国人に認めさせています。葛飾北斎も富士山と朝鮮通信使一行の様子を描いています(『北斎漫画』三編所収「采朝の不二」)。この絵では朝鮮人全員の視線が富士山へ注がれているため、あなたも富士参詣のために来日したような印象を見た者に与えます。また、18世紀後半には西洋諸国の脅威が増す中で、富士山を日本の守護神としてシンボル化する気運も高まりました。こうした富士山に関するアイスクールが日本型華夷認識を強固にした可能性は否定できないでしょう。

**知事** 日本は本当に世界の中心だというシンボルに富士山が仕立て上げられた訳ですね。富士



鎖国という外交 (全集 日本の歴史9) ロナルド・トビ著 (小学館刊)



近世日本の国家形成と外交 ロナルド・トビ著 (創文社刊) 速水融・永積洋子・川勝平太 訳

ます。昨年は李俊揆韓国大使(当時)、今年は李完九元國務總理が出席されました。まさに平和交流で。このような交流も、先生の研究に触発された勉強のおかげです。ありがとうございます。こちら

静岡県知事 川勝平太

1948年生まれ。早稲田大、同大学院を経て英オックスフォード大で博士号取得。早大教授、国際日本文化研究センター教授、静岡文化芸術大学学長などを経て2009年より現職。現在3期目。